

7月から「大腸がん検診の研究(比較試験)」が始まりました!

縁あってわれわれ消化器科が昭和大学横浜市北部病院消化器センターから派遣されるようになって3年目となりました。

ここ秋田県は大腸癌死亡率が全国第2位であることから、派遣当初から大腸癌死亡率の減少へ向けたプロジェクトを刈和野出身である工藤進英教授の下、国立がんセンター中央病院と共にすすめてきました。

そして、7月からいよいよ厚生労働省の第3次対がん総合戦略事業として「大腸がん検診の研究(比較試験)」が始まりました。これは、大腸内視鏡を検診に導入するという画期的かつ大規模な研究で、内視鏡検査は角館総合病院が主体となって行います。詳しくは別頁のお知らせを参考していただき、ぜひこの機会にご参加ご協力をお願いいたします。

もちろん市立病院としての本分は日常臨床であることにほかなりません。7月から児玉健太、塩飽洋生、森悠一の三人体制で診療にあたっています。地域による医療格差が叫ばれている昨今ですが、消化器科ではその格差をなくすべくマンパワー、知識、技術の面で消化器内科全般において出来る限り質の高い医療を行ってまいりますのでよろしく願いいたします。



左から 森医師、児玉医師、塩飽医師

大腸がん検診事業施設改修工事落成記念講演会

「厚労省第3次対がん総合戦略研究事業」の一環として、仙北市が実施する大腸がん検診事業に伴い、内視鏡室の改修工事を行っていましたが、この度完成し、6月26日、新内視鏡室を会場に関係者が出席しオープニングセレモニーが行われました。

オープニングセレモニー終了後、角館交流センター研修室で約100名の参加者を前に、工藤教授による「大腸がんの撲滅のために」と題した記念講演が開催されました。



Information

インフォメーション

1. ペースメーカークリニックを行っています

平成21年4月から第1・第3土曜日午前に、昭和大学横浜市北部病院循環器内科医師(専門医クラス)が、定期的にペースメーカークリニックを行っております。正常に働いているかどうか確認し、不都合があれば調整致します。電池交換などについても、お気軽にご相談、ご利用ください。

2. 平成21年度第2回市民公開講座のお知らせ

下記の要領で市民公開講座を開催いたしますので、多数の皆様のご参加をお願い致します。

- 日 時: 8月6日(木) 午後5時~6時
- 会 場: 市立角館総合病院 会議室
- 演 題: 切らずになおす脳血管カテーテル治療
- 演 者: 和歌山県立医大脳神経外科 増尾 修先生
- 対 象: 医療関係者、一般の方
- 問合せ: 市立角館総合病院 総務企画課 TEL(54)2111



市立病院利用患者数の年次別推移(4月～6月)

全国的な医師不足と医師の地域偏在などから、地域医療の現状は、特に地方において非常に厳しい状況が続いています。

病院の経営は、「医療の質の向上」と「健全経営」が両輪となって運営されるべきものですが、経営が成り立たない状況では、結果的に地域全体の医療提供体制に支障を及ぼすことになります。

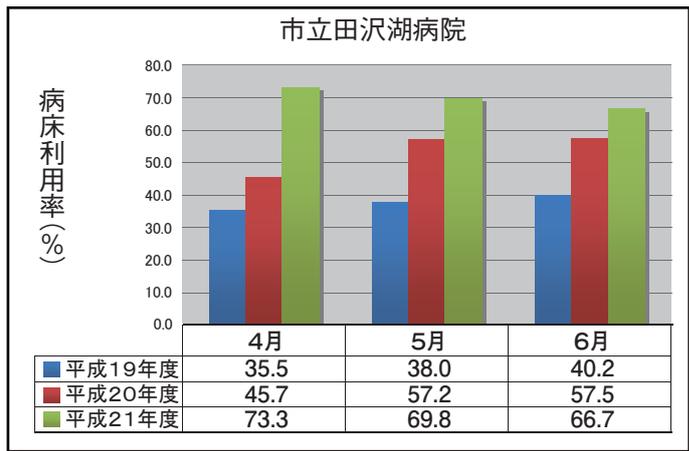
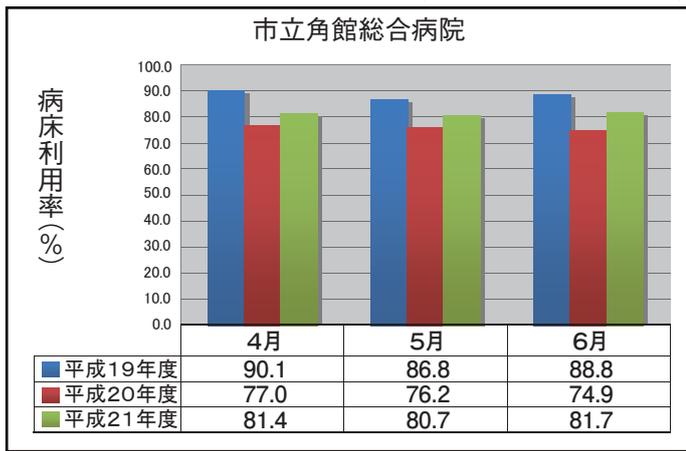
グラフにありますように、改善されてきている状況もありますが、病院経営は依然として厳しい状況にあり、こうした中、両病院の医療スタッフが地域医療の確保に懸命に努めています。

市民の皆様にも市立病院の運営について、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。病院経営改革推進室

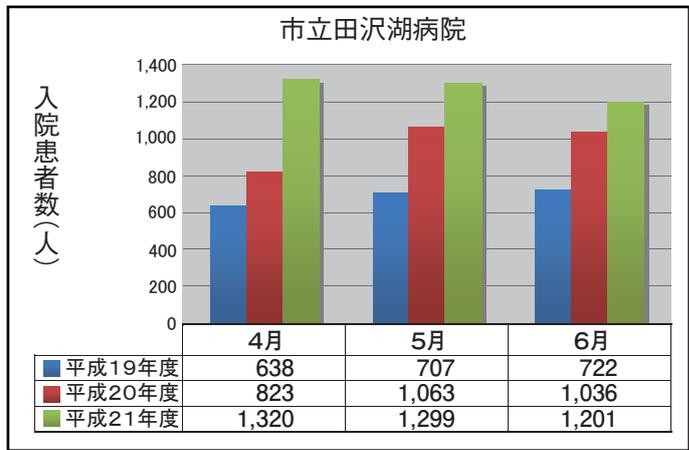
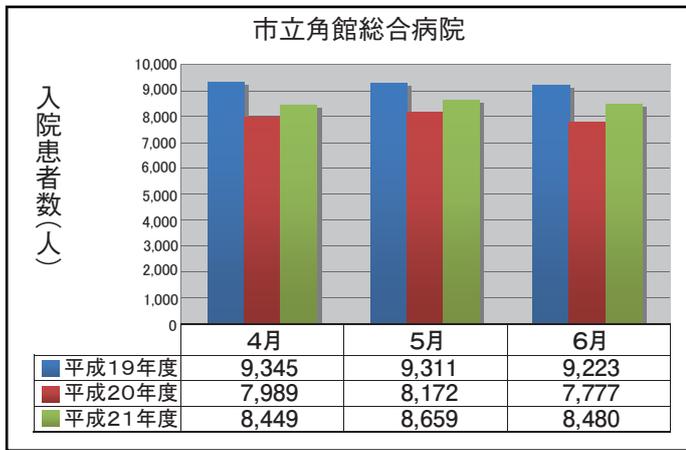
病床利用率(H19～H21の各4月～6月)

病床数346床(H21.6.23以降318床)

病床数60床



入院患者数(H19～H21の各4月～6月)



外来患者数(H19～H21の各4月～6月)

